



教育目標：すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

めざす学校像：①生徒の人格が尊重される学校 ②豊かな人間関係とより良い校風を育む学校 ③生徒の未来を見据えた学力を育む学校

めざす生徒像：「自己表現できる生徒・互いに認め合える生徒・粘り強く取り組み生徒」（令和6年度改訂）

めざす教師像：①生徒の人格と多様性を尊重する教師 ②より良い集団をつくり個々を育てる教師 ③授業を通して生徒の未来を明るくする教師

項目			中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
豊かな人間性の育成	1	豊かな心	・人権教育の充実 ・道徳教育の充実 ・特別活動の充実 ・生活指導の充実 をとおして、自分の良さや可能性に気づき、互いを認め合う豊かな人間性を育成する。	全教育活動をととして、心を育てる教育を推進し、いじめ防止教育の充実に努め、互いの人権を尊重し合う態度を育てる。	①人権尊重を基盤とし、生徒一人一人の存在と多様性が尊重される集団を育む。 ②「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止教育を徹底する。 ③行事等をととして、互いを認め合い、よりよい校風を育む。	3	<12月>集計	4	<12月>集計	道徳や学級活動等を通して、思いやりや相互理解の大切さについて重点的に指導する。四響祭等で、互いを認め合う活動を意図的に取り入れる。	・思春期の難しい時期だがぜひ挨拶を徹底してほしい。 ・挨拶は、社会で生きていく上で、基本的かつ必要なコミュニケーション。生徒だけでなく、先生方も気持ちの良い挨拶ができるようになるとうい。 ・子供たちに寄り添う目標が、明確に方策として示されている。
	2	生活		認め合う姿勢を醸成し、社会的資質や行動力の向上を図るとともに、困難をしなやかに乗り越え回復する力を育む。	①基本的生活習慣を確立する。（時間を意識した生活） ②挨拶の日常化を図る。（自然な挨拶） ③主体性をもって何事にもチャレンジさせる。（自主的な行動）	3	<12月>集計	4	<12月>集計	学級活動や学年行事等を通して、時間、挨拶等の大切さについて、重点的に指導する。生活指導部よりキャンペーン活動を企画していく。	・一人一人のもっている特性や良い点を褒めていくことが日常的になればより広い対応力が生まれ、認め合う社会が実現できると思う。 ・教師自らが豊かな感情を醸し出していくことで豊かな人間性を育ててほしい。
確かな学力の定着	3	基礎	・基礎的・基本的な知識・技能の向上 ・思考力、判断力、表現力の向上 ・生徒の視点に立った授業改善をととして、豊かな未来を創造する確かな学力の定着を図る。	主体的・対話的で深い学びの実践をととして、基礎的・基本的事項の習得を図る。	①主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組む。 ②ICT機器の効果的な活用を推進する。 ③読書活動を充実させる。	3	<12月>集計	3	<12月>集計	ICTの活用や個別指導等の方策を見直す。身に付いた実感をもたせる指導を工夫する。	・「気づき・疑問」を中学生のころから学んで社会で実践してほしいと強く思う。先生方が多くの気づきをもって実践し、互いに共有し交差させ、楽しむことができる力を引き出す授業を期待しています。 ・ここからAIが圧倒的に進化をして行く中で、その活用や功罪なども学べると良い。
	4	活用		個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をもとに、思考力、判断力、表現力の向上を図る。	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業改善に取り組む。 ②体験活動を取り入れた、探究的な学びによって自ら学ぶ力を育成する。 ③1人1台端末を活用し現代の諸問題を主体的に捉え解決しようとする意欲を育てる。	4	<12月>集計	3	<12月>集計	思考力、判断力、表現力の向上につながるように、学習形態や指導方法を工夫していく。	・中学の学習で増えた知識は、将来間違いなく人生を楽しむもの。本当の定着はその辺りにあるように感じる。 ・基本的事項の徹底と、発問が多く生まれる授業展開を期待している。
たくましい心身の育成	5	支援	すべての子どもたちを大切にする教育を推進する。	特別支援教育の視点に立った、一人ひとりに応じたきめ細かな対応を充実させる。	①特別支援教育の視点に立った、指導・支援を全教員で実践する。 ②サポート教室の整備や関係機関との連携をととして、必要な支援を行う。 ③不登校生徒や保護者に寄り添い、課題の解決に向けて取り組む。	3	<12月>集計	3	<12月>集計	研修等を通して学び、生徒・保護者に寄り添った支援を更に充実させていく。	・自ら努力したり、集団で取り組んだりして得た感動は強い倫理観を醸成し、価値ある行動に結びつく。そういう場面の設定を望む。 ・不登校対応に向けて、サポート教室の充実を特に願っている。 ・今後も個別の特徴や成長の度合いに寄り添う支援を継続して行ってほしい。
	6	体力・安全	健やかな身体の育成と、体力向上に向けて取り組む。	健康で安全に生活する力を育成する。	①生徒が上達し、運動が好きになるような保健体育の授業改善を実践する。 ②校内での取組や家庭で取り組める運動の周知をととして、運動習慣を確立させる。 ③安全指導、避難訓練等をととして、主体的に自他の命を守れるようにする。	3	<12月>集計	3	<12月>集計	体力調査の結果を分析し、保健体育の授業に生かしていく。地域の方と行う避難訓練を実施する。	・体力向上や安全指導は、生きる力、有事においての安全面はもちろん互いを助ける力に結び付く、ということをしっかり指導して行ってほしい。
学校・家庭・地域の連携	7	特色	特色ある教育活動を充実させる。	国分寺市の実施をととして、地域を考え、地域に貢献する生徒の育成を図る。	①9年間の学習活動の集大成として、3年生の国分寺学×SDGsプロジェクト探究学習を実施する。 ②3年生の国分寺学×SDGsプロジェクト探究学習では、体験と地域への貢献を必ず取り入れる。	4	<12月>集計	3	<12月>集計	3年の発表会、SDGs講座を保護者や地域の方にも参観していただき、地域全体の学びの場としたい。	・体験と貢献活動を実施することによる地域との共生が図られているのがよい。 ・SDGsの取組は継続され引き継がれている。問題を解決する糸口をあらゆる方法で見出していく経験は、必ず未来につながり、学習に取り組む姿勢や気付きにつながっていく。CSは子供たちに安心を与えたり、地域を知る学びと一緒に取り組んだりする、身近な存在でいられたらと思う。 ・他市のフェスタのように、地域の方々が自主的に積極的に関与できるような場を意欲して設けるべきだと感じている。CSで具体的に協議していきたい。
	8	連携	地域とともにある学校づくりを推進する。	コミュニティ・スクールとして学校・家庭・地域との連携・協働を進める。	①9年間を見通した系統的な小・中連携教育をととして、学力向上、生活指導の充実を図る。 ②国分寺型コミュニティ・スクールをととして、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく。	3	<12月>集計	3	<12月>集計	CSだよりを通して、活動を知ってもらうとともに、CS発案の取組を少しずつ取り入れていく。	

解説

この「自己評価書」は、生徒・保護者対象のアンケート結果を基に、努力指標と成果指標を分析し、改善策を提示したものです。

「努力指標」とは、学校側の努力状況です。4（ほとんど達成した）、3（達成できた部分が多い）、2（達成できない部分が多い）、1（ほとんど達成されていない）となります。

「成果指標」とは、生徒および保護者対象のアンケート結果（A B C D 4段階）を総合した評価です。A B 合計の％数値が、90％以上で4、70％以上で3、50％以上で2、50％未満で1となります。